



ふりがな 氏名	さとう ゆきや	都 道 府 県	岩手県	
	佐藤 由季也			
所属/肩書	盛岡中央高等学校 / 常勤講師			
関心・活動のSDGs	  			
私のESD活動	web 会議システムを活用して、「国境なき教室」を作る			

活動の概要

●活動内容

教員になる前は、国際協力系の NPO 法人で活動をしていました。アジア最貧国と言われるネパールで約1年間、現地 NGO とタッグを組み、映像授業を活用した教育支援を行っていました。ネパール滞在中に、首都カトマンズの学校と日本の高校を web 会議システム(zoom)で接続し、4回にわたる国際交流を実施しました。本交流は日本側の高校生(5名)が主体となり、交流の内容を決定したり司会進行を務めたりしました。交流の内容は、アイスブレイキングから始まり、両国の伝統的なダンスの紹介や、母国語の紹介など多岐に渡りました。継続した交流は両国の生徒の絆を深め、英語を本当のコミュニケーション場面で使用する良い機会となりました。

現在勤務している高校は世界25カ国に広がる姉妹校ネットワークを活用した国際交流が盛んです。今年8月には世界15の国と地域から姉妹校生徒が盛岡市に集結し、国際教育フォーラムを実施しました。私はファシリテーターとして文化や宗教の異なる生徒の意見を引き出し、議論を深めるサポートをしました。

●これからやりたいこと

勤務校の姉妹校ネットワークを活用し、一つのテーマ(例えば環境問題や、貧困問題)について、同じような課題を抱えている国の生徒や専門家と web 会議システムで繋ぎ、課題の共有や解決のためのアクションを共に考える2国間(多国間)での PBL 的な学習活動を行っていきたいと考えています。

・第21回 CHUO 国際教育フォーラム http://www.chuo-hs.jp/pdf/21th_forum.pdf

私が考える教育の未来像

これからの教育は、教師の役割・学習方法・学習内容など教育の「当たり前」が崩壊し、変化と多様性に満ちたものになると考えています。テクノロジーの発達により、教師の役割は teaching から coaching や facilitating に大きく変わろうとしています。変わるのは教師の役割だけではありません。文系・理系といった枠組みや同じ教室には同じ年代に生まれた同じ国籍に子供達がいるという当たり前は無くなります。子供達は生まれた環境や育った環境に関係なく、自分の夢や望ましい社会を実現するための教育を受けられるようになって考えています。そのために私たち教員や教育関係者が変化を享受し、変化を生み出す存在であり続ける必要があると考えます。

私の強み、活かせる経験やスキル

1. 包含力・・・私はどんな相手や意見も受け入れることができます。自分と価値観が異なるからといって相手の考えを真っ向から否定したりはしません。まずは相手の話を傾聴し、自分との違いを認め、共通点を探します。教室や会議などの場で孤立している人がいた際に私は積極的に彼らに声をかけ、相手の話を聞き、彼らと他の参加者との架け橋になることができます。
2. 「伝える」力・・・私はネパールでの教育支援活動の経験から、異なるバックグラウンドの人たちにも自分の意見や思いを正確に伝えることができます。日本人同士であっても、相手に伝わりやすい工夫をし、自分と相手の相互理解を深めます。